

建築関係工事における週休2日促進工事試行要領

1 目的

本要領は、福島県土木部が発注及び受託する建築関係工事における週休2日の取組において労務費の補正等の試行を行うために必要な事項を定め、もって週休2日を促進することを目的とする。

2 用語の定義

(1) 週休2日

対象期間において、土日に限らず、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。なお、週休2日は、毎週土日を現場閉所とする“完全週休2日”と異なる。

(2) 週休2日促進工事

4週8休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる工事をいう。

(3) 対象期間

工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。

なお、年末年始休暇7日間、夏季休暇4日間、工場製作のみを実施している期間などは含まない。

(4) 現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

(5) 現場休息

分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。

(6) 4週8休以上

対象期間内の現場閉所（現場休息）の日数の割合（以下、「現場閉所（現場休息）率」という。）が、28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の閉所日についても、現場閉所日数に含めることができる。

3 対象工事

災害復旧工事や社会的要請などの理由から週休2日の実施が困難な工事等を除く、福島県土木部が発注及び受託する全ての建築関係工事を試行の対象とする。

なお、災害復旧工事等の本試行対象外工事であっても、受注者が週休2日の

実施を希望する場合は、受発注者協議の上で試行の対象とすることができる。

4 発注方式

発注者指定型（発注者が週休2日に取り組むことを指定する方式）とする。

5 積算方法等

(1) 補正方法

週休2日促進工事において、以下の補正係数により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費、ただし見積り単価を除く）を補正する。

4週8休以上（現場閉所（現場休息）率28.5%（8日/28日）以上）

1.05

(2) 積算及び変更方法

当初の予定価格から、4週8休以上を前提に(1)により労務費を補正して工事費を積算する。

現場閉所（現場休息）の達成状況を確認し、現場閉所（現場休息）が4週8休に満たない場合、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。

6 対象工事である旨等の明示

発注者指定型の対象工事である旨等の明示を、入札公告（随意契約の場合は見積書提出通知）および特記仕様書等に記載するものとする。

7 現場閉所（現場休息）の確認方法

受注者より受領した現場閉所日を記載した実施工程表を基に、現場閉所（現場休息）の実施状況を随時確認する。

8 工事成績評定について

4週8休以上の休日の確保が確認できた場合は、加点評価を行う。

発注者指定型においては、受注者の責により4週8休以上の休日が確保できなかった場合、減点評価を行うが、令和6年12月末までに起工する工事については、減点しない。

9 実施証明書

発注者は、週休2日促進工事を実施し、その竣工検査に合格した受注者に対して、4週8休以上を達成した場合、福島県工事実施証明書発行事務運用基準に定める実施証明書を発行するものとする。

10 その他

(1) 週休2日促進工事の見える化

仮囲い等に週休2日促進工事である旨を明示する。

(2) 適正な工期の確保

改修工事においては、全体工期にしわ寄せがないよう施工期間を確保するなど適正な工期を設定すること。

(3) 元請下請の取引の適正化

週休2日促進工事の実施にあたり、工期や契約金額等について下請業者へのしわ寄せが生じることのないよう、所管部署に対象工事の情報を提供するなど連携を密に行うものとする。

(4) アンケート調査等の実施

週休2日促進工事を実施した場合はアンケート調査等を実施し、週休2日確保の阻害となる要因の把握や対応策を検討し、この促進につなげる。

附 則

この要領は、平成30年5月1日から適用する。

この要領は、平成31年4月1日から適用する。

この要領は、令和元年10月1日から適用する。

この要領は、令和2年10月15日から適用する。

この要領は、令和3年4月1日から適用する。

この要領は、令和5年4月1日から適用する。

この要領は、令和6年1月1日以降に公告する工事から適用する。